

## 【ご紹介】パブリックコメント：45分防火設備の告示改正に関する意見募集について

### 建築基準法第21条第1項に規定する建築物の特定主要構造部の構造方法を定める件等の一部を改正する告示案

2024年9月に国土交通省より建築基準法第21条第1項に規定する建築物(大規模建築物)に定められている特定主要構造部告示のうち、45分防火設備の仕様に関して、パブリックコメント(締切済)が出されました。この内容が認められれば、枠材(障子含む)に木材を用いた防火設備の告示仕様が下記の内容に変更されます。詳細は右記リンクよりご確認ください。リンク：<https://public-comment.e-gov.go.jp/pcm/detail?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=155240736&Mode=0>

●変更仕様(案)の一部(変更箇所は赤字で記載)

開閉形式	枠材の見込寸法	ガラスの種類	開口部の寸法 (幅(X) × 高さ(Y)(mm))	ガラスの 取付部材・方法	かかり代長さ
片引き戸	・召合せ部のたて枠： <b>120mm</b> 以上 ・上記以外のたて枠： <b>240mm</b> 以上 ・上枠及び下枠： <b>240mm</b> 以上	複層ガラス (耐熱結晶化ガラスにより構成されるものであって、いずれかのガラスの垂直放射率が0.03以上0.07以下であるものに限る。)	$1262 \leq X \leq 2230$ 、 $902 \leq Y \leq 2430$	・材質： <b>鉄材又は鋼材</b> ・厚さ：0.5mm以上 ・取付間隔：180mm以下  ※木製の通し材で覆う	・取付部分： <b>7mm</b> 以上 ・障子とガラス： <b>13mm</b> 以上
縦すべり出し	・枠： <b>161mm</b> 以上		$438 \leq X \leq 838$ 、 $690 \leq Y \leq 1738$		
横すべり出し戸	・框： <b>120mm</b> 以上		$690 \leq X \leq 938$ 、 $438 \leq Y \leq 938$		
はめごろし戸	・枠：120mm以上		$316 \leq X \leq 1316$ 、 $316 \leq Y \leq 2516$		

## 【お知らせ】試験体選定基準書の更新

防耐火構造部材の性能評価試験における試験体の選定基準を記した『試験体選定基準』が2024年9月に更新されました。

主な更新箇所は以下の2点です。

- 強化せっこうボードで受験した際に防水防カビタイプの強化せっこうボードを包含できる範囲を1.5時間耐火構造に拡大(従来は1時間耐火構造まで)
- 耐火構造の燃え止まり型柱、はりにおいて、荷重支持部材をスギで受験した際に包含できる樹種を追加(下表参照)

申請仕様(赤字が今回の更新により追加された樹種)

スギ、カラマツ、ホワイトウッド、ヒノキ、スプルス、ペイマツ、アカマツ、オウシュウアカマツ、ラジアタパイン、ダフリカカラマツ、**ヒバ、トドマツ、アカエゾマツ**

詳細は下記URLの最新の試験体選定基準書をご確認ください。

([https://www.gbrc.or.jp/assets/documents/center/taika\\_buzai2\\_senteikijun.pdf](https://www.gbrc.or.jp/assets/documents/center/taika_buzai2_senteikijun.pdf))

## 【お知らせ】請求業務について

請求書発行部署変更についてお知らせいたします。

- 取扱部署：耐火部→業務課(振込先口座が変更となります)
- 対応時期：2024年10月受付分より

試験研究センター耐火部にて対応しておりました性能評価業務に係る手数料および性能確認のための試験料金の請求業務につきまして、当法人内の業務分担変更により、2024年10月1日受付のご依頼より、事務局総務部業務課にて対応することとなりました。

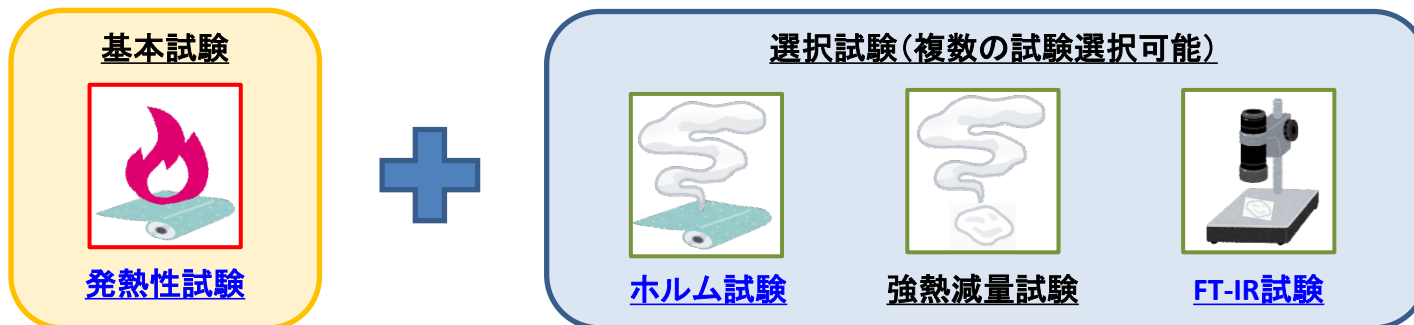
これに伴い、ご入金いただく銀行口座も変更となります。お手数をお掛けいたしますが、よろしくお願い申し上げます。

(2024年9月30日受付分までのご依頼につきましては、引き続き耐火部より請求等ご案内させていただきます。)

今後とも引き続き円滑な業務の実施に努めてまいりますので、変わらぬご利用を賜りますようお願い申し上げます。

## 【ご案内】発熱性試験および材料試験のセットプラン拡大のご案内

GBRCの新たな試みとして、『試験業務のセットプラン』を2023年に開始しました([本メールマガジンVol.31](#))。今回はセット可能な試験を追加しましたので改めてご案内いたします。追加した試験は『強熱減量試験』および『フーリエ変換赤外分光光度計による成分の定性分析 (FT-IR試験)』の2項目です。基本となる「発熱性試験 (研究開発支援試験)」に加えて、材料試験である「ホルムアルデヒド放散量試験 (ホルム試験)」「強熱減量試験」「FT-IR試験」を選択いただき、試験を申込みいただくことが可能となります。



	試験項目	試験体数 (1件当たり)	セットプラン時の 単体金額	個別依頼時の 単体金額
基本試験	発熱性試験 (セットプラン用)	1体	¥39,600	¥44,000
選択試験	ホルムアルデヒド放散量試験*	2体	¥26,400	¥56,100
	強熱減量試験	2体	¥15,400	¥15,400
	FT-IR試験	1体	¥33,000	¥44,000

例: 発熱性試験 + 強熱減量試験  
¥39,600 + ¥15,400 = **¥55,000**

例: 発熱性試験 + 材料試験全て  
¥39,600 + ¥26,400 + ¥15,400  
+ ¥33,000 + ¥3,300 = **¥117,700**

\*: 当所で試験体のサイズを加工する場合には別途、3,300円の費用が生じます

### 【セットプラン問い合わせ先】

- ・窓 口：耐火部 防耐火構造・材料試験室 正木、大上
- ・電 話：072-760-5053
- ・メール：[info.taika@gbrc.or.jp](mailto:info.taika@gbrc.or.jp)

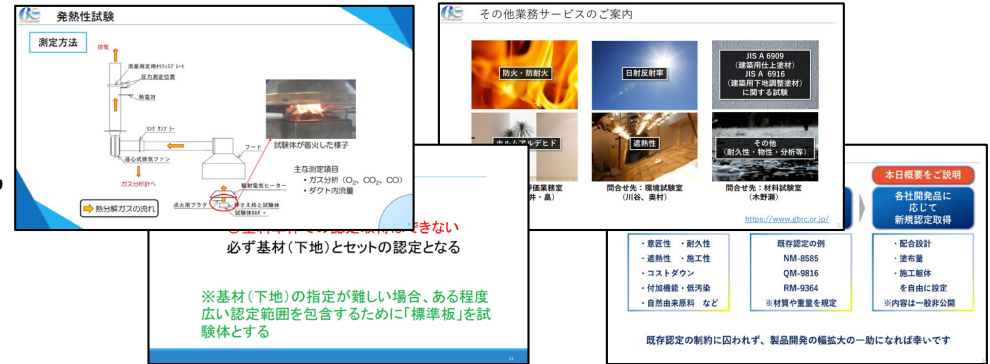
なお、当法人HPのご案内の通り2025年1月に料金改定が  
ございます。上記記載金額は改定前の金額となりますので、  
お申し込みの際にはご注意ください。

## 「防火材料認定取得に関するセミナー」開催報告

2024年9月11日～13日にかけて塗料取扱企業様・関係者様向けに、防火材料認定に関するセミナーを開催しました。セミナーでは認定取得方法の解説に加え、標準板ルールなど塗料材料の特徴に焦点を当てた説明をさせて頂きました。セミナー後には個別ご相談を頂くなど、ご好評を頂いております。

＜説明会のご要望お受けします＞  
塗料材料に限らず、ご希望があれば、同様のセミナーを開催させていただきますので、ご興味があればご連絡ください。個別、団体いずれでも対応いたします（開催形式につきましてもweb・対面・ハイブリッドいずれも対応できます）。

お問合せ先：[高山 takayama@gbrc.or.jp](mailto:高山 takayama@gbrc.or.jp)  
[玉井 yu-tamai@gbrc.or.jp](mailto:玉井 yu-tamai@gbrc.or.jp)  
[畠 m-hata@gbrc.or.jp](mailto:畠 m-hata@gbrc.or.jp)



必ず基材(下地)とセットの認定となる

※基材(下地)の指定が難しい場合、ある程度広い認定範囲を包含するために「標準板」を試験体とする

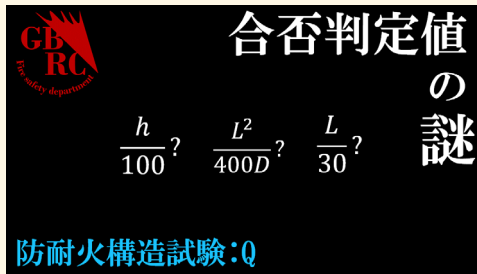
## 2024年度 日本建築学会大会（関東）学術講演会 研究発表

2024年8月27日(火)～8月30日(金)の4日間で開催された2024年度日本建築学会大会にて、防耐火関連では当法人から下表に示す3題を報告しましたので、概要をご紹介します。

講演番号	題名	発表者	概要
3023	発熱速度の時間変化を考慮した壁面内装の燃え拡がり予測	小宮祐人 (防耐火構造・材料試験室)	壁面を12mm厚の合板とした約1.8m立方の中規模区画実験と、同条件での燃え拡がり予測を比較し、予測可能性を検討した。予測モデルはQuintiereモデルに2層ゾーンモデルを組み込み、発熱速度はCCMの測定結果を入射熱に応じて補正して入力する方法とした。
3013	ガス有害性試験におけるCOガスに着目した毒性評価についての検討 その2 ガス有害性試験装置を用いたガス成分分析による毒性評価の検討	正木智大 (防耐火構造・材料試験室)	実験動物使用に対する代替手法を検討するために、現行のガス有害性試験装置にフーリエ赤外分光光度計を設置し、ガス有害性試験から得られたマウスの行動停止時間とFTIR から得られたガス分析結果について報告した。
3008	ポンプカロリメータを用いた単位発熱量の検討	玉井裕介 (評価業務室)	ポンプカロリメータを用いて、建築材料に用いられる合成樹脂の単位発熱量を測定し、文献値との比較および同一種材料が示す値の範囲(振れ幅)を調査した。また、得られた結果から、単位発熱量に影響する因子について考察し報告した。

## 【YouTube】最新動画のご紹介

耐火部の公式YouTubeチャンネルにて、最新動画を公開しました。今回は、合否判定値についての解説動画となっております。合否判定値が、どのような考え方で定められているのか解説しております。この機会に是非参考にしてみてください。



**合否判定値の謎**  
 $\frac{h}{100}?$   $\frac{L^2}{400D}?$   $\frac{L}{30}?$

GBRC  
 防火構造試験部

防耐火構造試験:Q

防耐火構造試験での非損傷性の合否判定値について。なぜそのような値なのか？物理的なイメージとは？このあたりを徹底解説します！

※画像をクリックすると動画にアクセスできます

## 【お知らせ】取り下げ届の様式変更について

性能評価の申請を取り下げる際に提出頂く「取り下げ届」について、様式の一部変更をお知らせします。

変更項目：

### ①申請者欄

試験不合格の場合には、申請者欄を不要としました。

### ②試験成績書の送付・請求先欄

送付・請求先情報を直接記入する欄を設けました。

### 申請者都合による場合

取り下げ理由	申請者都合による。	
申請者	会社名等	○×株式会社
	代表者役職名	代表取締役社長
	代表者氏名	□□ □□
	会社名等	○×株式会社
	部署・職位	△△部▽▽課
	氏名	◇◇ ○◇
連絡担当者	〒	000-0000

### 試験不合格の場合

取り下げ理由	性能評価試験が不合格となったため。	
連絡担当者	会社名等	○×株式会社
	部署・職位	△△部▽▽課
	氏名	◇◇ ○◇
	〒	000-0000
	住所	-----
	TEL/FAX	000-000-0000
	E-Mail	-----@-----.jp

	要否	要
	発行様式	電子
試験成績書	送付先	上記連絡担当者
	追加発行費請求先	下記請求先
	会社名等	株式会社●●
	部署・職位	▲▲部▼▼課
	氏名	◆◆ ◆◆
	〒	000-0000
	住所	-----
	TEL/FAX	000-000-0000
	E-Mail	-----@-----.com

ご不明な点がございましたら、担当者までお問い合わせください。

## 【スケジュール】性能評価委員会

下記の予定となります。GBRCのホームページでもご確認いただけます。

[https://www.gbrc.or.jp/building\\_confirm/committee/](https://www.gbrc.or.jp/building_confirm/committee/)

	11月	12月	1月	2月	3月
防耐火構造部材性能評価委員会	11日	9日	17日	-	13日
防火材料性能評価委員会	25日	23日	30日	21日	26日
防耐火材料性能評価委員会	27日	26日	29日	25日	27日

## 【ご利用ください】耐火部情報共有サイト

耐火部の最新情報を掲載しています。ぜひご利用ください。

<https://sites.google.com/view/gbrc-testblankday-list>

- ①耐火試験日程空き状況
- ②大臣認定書交付状況
- ③料金表、申し込み書類掲載
- ④YouTubeチャンネル、メールサービスへのリンク



建築の質の向上と  
 安全性の確保のために

GBRC 耐火試験日程空き状況・認定書交付状況・その他リンク集

### 【編集後記】

朝晩が涼しくなってきた、秋の気配を感じるようになりました。最近、寝具を完全な冬仕様に衣替えをしました。今年から新居にて新生活をはじめ、今の家がどれくらい寒いかわからず、冬を耐え抜かれるか心配です。11月頃から急に冷え込む予想もされています。寒暖差で体調を崩さぬよう、どうぞお体にはお気をつけてお過ごしください。(畠)



発行者：一般財団法人 日本建築総合試験所  
 試験研究センター 耐火部 評価業務室  
 TEL:072(768)8201 E-mail: seinou2@gbrc.or.jp